

① 米ドル

⇒ みずほ銀行の唐鎌大輔チーフマーケット・エコノミストは「年内はFRBが発信する大規模金融緩和の縮小に向けたメッセージが市場参加者の最大の関心事になる」と指摘

⇒ 「米長期金利は年内に2%に向けて上昇が続くとみており、円相場も114円に向けて下落する」と予想する

⇒ 昨年2月の112.21円を突破すると、125円に向かうと思います

【米ドル:2年】



② ユーロ

- ⇒ 一時 132.36 円まであり 132.05-10 円
- ⇒ 日々フランス金貨のオファーが国内外ディーラーからあり、せっせとフランス金貨を購入していますが、ユーロ高のためどんどん支払額が増えています
- ⇒ 117 円前後での支払いだった 1 年前と比べ、隔世の感があります
- ⇒ 1 年で約 15%円安ユーロ高になりました
- ⇒ さて、1 年後には 150 円になっているでしょうか

【ユーロ:2年】

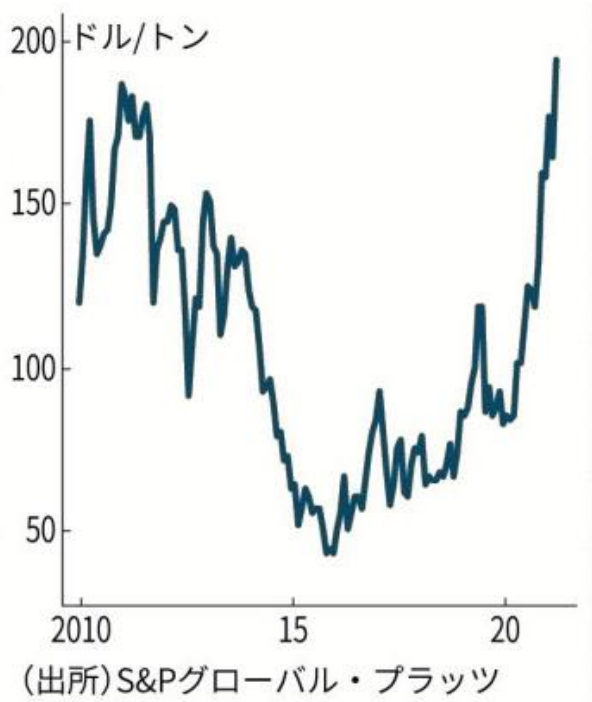


③ 年初来安値 195 銘柄

- ⇒ 国内株式市場で年初来安値を更新する銘柄が増えている
 - ⇒ 28日は東証1部上場企業の9%に当たる195銘柄が安値を付けた
 - ⇒ 日経平均株価が年初の2万7000円強に比べて高い水準にあるなかで安値銘柄が増えているのは、中小型の内需株への売りが強まっているためだ
 - ⇒ **緊急事態宣言の発令を受け、国内景気の回復が遅れる**との懸念が広がっている
 - ⇒ **28日は日経平均が上昇するなかで、東証1部の68%にあたる1481銘柄が下落した**
 - ⇒ 195銘柄は日経平均が取引時間中に2万8419円まで下落した21日の217銘柄に次ぐ高水準だった
 - ⇒ 内需関連のなかでも中小型株の下げがきつい
 - ⇒ 東証規模別株価指数の「大型」が1%高で引けた一方、「小型」は4営業日連続で下げた
 - ⇒ しんきんアセットマネジメント投信の藤原直樹運用本部長は「**前回までと違い今回の緊急事態宣言では発令されてからも感染者数が減らず、効果に疑念が広がる。内需回復が遅れるとの懸念につながった**」とみる
-
- ⇒ 好決算発表後に急落する銘柄が増えています
 - ⇒ 日経平均の一部の銘柄だけが上昇して全体が上がっているように錯覚されている方もいらっしゃると思いますが、惑わされないようにして下さい

④ 鉄鉱石 10年ぶり最高値

- ⇒ 指標となる米調査会社 S&P グローバル・プラッツが算出する鉄鉱石の国際価格指数(中国行き・鉄分62%粉鉱、運賃込み)は **27日時点で1トン193.85ドル**。前日から2.4ドル(1%)上昇し、2011年2月中旬につけたこれまでの最高値である同193ドルを上回った
 - ⇒ 3月下旬の安値(同156.35ドル)から約1カ月で24%上昇し、前年同期の2倍の水準となった
 - ⇒ ここに来て米国でも大規模インフラ投資などを背景に鉄鉱石需要が増えるとの見方もある
 - ⇒ 鉄鉱石の高騰で生産コストが上がった各国の鉄鋼メーカーは製品価格への転嫁を進める
 - ⇒ 日本では日本製鉄が自動車や家電などで幅広く使う薄鋼板の一般流通(店売り)向け価格を、6月出荷相当分から1トン当たり1万~1万5千円(約1割)引き上げる
 - ⇒ 追加の値上げも予想され、製造業のコスト負担が増しそうだ
-
- ⇒ インフレが着実に迫っているようです
 - ⇒ 豪ドルは満を持して85.44円突破後90円に向かうと思います



【豪ドル:2年】

